田中宏教授　略歴・研究業績一覧

1951年9月　山口県生まれ

学　歴

1970年3月　山口県立徳山高等学校卒業
1970年4月　大阪外国語大学外国学部ロシア語学科入学
1976年3月　大阪外国語大学外国学部ロシア語学科卒業
1976年4月　京都大学経済学研究科博士課程（前期）（経済政策学）入学
1981～82年　ポーランド・ワルシャワ大学経済学部政府国費留学
1983年3月　京都大学経済学研究科博士課程（経済政策学）退学（学修）
2006年6月　博士（経済学）（京都大学）論経博第327号

職　歴

1983年4月　高知大学講師（人文学部）
1985年4月　高知大学助教授（人文学部）
1986～1987年　ハンガリー科学アカデミー世界経済研究所客員研究員（1986年4月～1987年9月）
1991～1993年　外務省専門調査員（在ブダペスト日本大使館）（1991年4月～1993年3月）
1993年4月　高知大学教授（人文学部）
1996～2000年　高知大学評議員（1996年10月～2000年3月）
2000年4月～現在　立命館大学経済学部・大学院経済学研究科教授
2007年　ハンガリー科学アカデミー経済研究所客員研究員（2007年4月～2008年1月）
2008年　英国サセクス大学SPRU客員研究員（2008年2・3月）
2010年　京都大学経済研究所客員教授（現代経済分析研究部門4月～9月）
2012年～現在　公益財団法人KIER経済研究財団　理事
2015年4月～現在　立命館大学社会システム研究所所長
【所属学会】　日本国際経済学会，比較経済体制学会，比較経営学会，日本EU学会，進化経済学会，ロシア東欧学会，European Association for Comparative Economic Studies

［学会委員歴］

1999-2006年　比較経済体制学会 幹事
2000-2004年　比較経営学会 理事
2002-2003年　『比較経済体制学会年報』編集委員
2008-2011年　比較経営学会 理事
2008-2009年　比較経済体制学会 幹事
2009-2011年　ロシア東欧学会 理事
2015-2017年　比較経済体制学会 幹事

研究業績

A．著書（編著）

『EU 加盟と移行の経済学』田中宏，ミネルヴァ書房，2005年04月

『ハンガリー経済図説』田中宏，東洋書店，2014年05月

『欧州新興市場国への日系企業の進出――中欧・ロシアの現場から――』田中宏・池本修一編著 文眞堂，2015年01月，第 1 章と第 7 章担当

B．著書（共著・分担執筆）

「EC・西独ー進出の現状と東西ドイツ関係」『ソ連・東欧経済と西側戦略』所収，松永佳子・田中宏，新日本出版社，1990年09月

「社会主義はどこから来てどこへ行くのか」向寿一編著『21世紀の社会経済学』同文館，1993年03月

「Integration, Transformation and Modernization in Hungary」『高知論叢』1998年

「開発経済論とロシア」小野堅・岡本武・溝端佐登史編『ロシア経済』世界思想社，1998年

「ロシアの国際環境」小野堅・岡本武・溝端佐登史編『ロシア経済』世界思想社，1998年

「市場経済化への新しい波」基礎経済科学研究所編『地球社会の政治経済学』ナカニシヤ出版，1998年第 4 章

「ハンガリーの体制転換における労働市場」大津定美・吉井昌彦編著『経済システム転換と労働市場の展開：ロシア・中・東欧』日本評論社，1999年02月

「ハンガリーにおけるマクロ経済安定化プログラムと98年総選挙」大津定美・吉井昌彦編著『経済システム転換と労働市場の展開：ロシア・中・東欧』日本評論社，1999年02月

「東欧における地域協力と国際関係」小山洋司編著『東欧経済』世界思想社，第 2 章，1999年09月

「東欧―移行の終了，その特殊性と多様性」溝端佐登史・吉井昌彦編『市場経済移行論』世界思想社，2002年07月

The EU Eastern Enlargement from the Perspective of Japan, *Europa 2002,* Az Europai Tanulmanyok Alapitvany, V. evfolyam 1. szam 2004 marcius, 60-62. o. 2004. 03.

「東欧の EU 加盟」現代世界経済叢書第 6 巻『ロシア東欧経済論』第10章，ミネルヴァ書房，2004年11月

「東欧（ハンガリー）における体制転換と労働市場，労働過程」上原一慶編著『躍進する中国と回復するロシア』高菅出版，2005年05月

「ロシアのグローバル化と WTO 加盟」上原一慶編著『躍進する中国と回復するロシア』高菅出版，2005年05月

「市場移行と EU 加盟のなかの企業――ハンガリー企業研究――」日本比較経営学会編『会社と社会』文理閣，第 6 章，2006年12月

Hungarian Firms under Socialism, Transition and EU Accession, *Business and Society: New Perspective for comparative Studies for Management*; Chapter 6, The Japan Association for Comparative Studies of Management（ed.), Bunrikaku Publisher, Kyoto pp. 47-54, 2006. 10

「カルパチア・ユーロリージョンと越境地域ガバナンス」若森・八木・清水・長尾編著『EU 経

済統合の地域的次元』ミネルヴァ書房，2007年11月
Europeanization and Transition, K. Yagi and S. Mizobata（eds.）*Melting Boudaries, Institutional Transforamtion in the Wider Europe,* Kyoto University Press, pp. 208-220, 2008
「欧州統合とユーロリージョン――越境協力の第三段階――」篠田・西口・松下編『グローバル化とリージョナリズム』お茶の水書房，第８章，2009年03月
「経済システムの比較と移行経済」角田修一編『社会経済学入門』大月書店，2003年09月
「ヨーロッパ経済」石田修・板木雅彦・櫻井公人・中本悟編『現代世界経済をとらえる ver. 5』所収，東洋経済新報社，第４章，2010年04月
「EU に欧州企業は誕生したのか」溝端・小西・出見世編著『市場経済の多様化と経営学』第８章，ミネルヴァ書房，2010年09月
「EU と社会的市場経済」田中祐二・中本悟編著『地域共同体とグローバリゼーション』第４章，晃洋書房，2010年11月
「ハンガリー：なぜ EU 新加盟国の先導国から問題国になったのか」久保広正・吉井昌彦編『EU 統合の深化とユーロ危機・拡大』第７章，勁草書房，2013年03月
Some lessons from the successful EURO Adoption by the two CEE states, Yoji Koyama（ed.）*The Eurozone Enlargement Prospect of New EU member States For Euro Adoption:* Chapter 4, Nowa Publisher, New York pp. 55-63, 2016. 03.
Hungary's divergent way to adopt the Euro, Yoji Koyama（ed.）*The Eurozone Enlargement Prospect of New EU member States For Euro Adoption:* Chapter 7 pp. 113-131 2016. 03.
「EU のマクロリージョン戦略――地域アーキテクチュアの視点から――」八木紀一郎・清水耕一・徳丸宣穂編著『欧州統合と社会経済イノベーション――地域を基礎とした政策の進化』第７章，2017年01月，pp. 267-308

C．論　文

「ソ連邦国民経済における地域計画化」京都大学経済学会『経済論叢』1979年09月
「ソ連経済の地域別投資構造」京都大学経済学会『経済論叢』1980年06月
「ソ連経済における地域別固定フォンド構造」京都大学経済学会『経済論叢』1980年07月
「ポーランドの貿易構造と経済危機」『世界経済評論』1980年11月
「現代世界経済における社会主義的国際分業（上）」京都大学経済学会『経済論叢』1981年02月
「現代世界経済における社会主義的国際分業（下）」京都大学経済学会『経済論叢』1981年07月
「ポーランドの危機への接近」『社会主義経済研究』1983年09月
「70年代世界経済とポーランド」高知大学経済学会『高知論叢』1984年03月
「経済改革と貿易の国家独占」高知大学経済学会『高知論叢』1984年12月
「ポーランドの外国貿易における経済改革」『大阪経済論集』1985年03月
「現代世界経済と社会主義」『社会主義経済研究』1985年09月
「個人所得税の導入と社会主義の３つの型」『経済科学通信』1987年12月
「ゴルバチョフ政権と対外経済改革路線」『社会主義経済研究』1988年04月
「コメコン協力におけるハンガリーと機械工作企業」高知大学経済学会『高知論叢』1989年03月

「ソ連・東欧諸国における労働力の非統合型労働力移動」高知大学経済学会『高知論叢』1989年11月

「EC・西独―進出の現状と東西ドイツ」松永佳子・田中宏共著『経済』1990年05月

「コメコン―過去，現在と展望」『経済』1990年

「ソ連の外向き対外経済政策と外資導入の現状―」日本科学者会議『日本の科学者』1991年07月

「ポーランド社会主義とその生活様式」『社会主義経済研究』1991年

「中・東欧諸国と EC との欧州連合協定」高知大学経済学会『高知論叢』1993年

「日本の戦後復興はロシア・東欧に有効か」『週刊エコノミスト』（毎日新聞社）1993年

「直接投資と中東欧諸国の体制転換―体制転換・ナショナル分析」高知大学経済学会『高知論叢』1995年

「世界の直接投資における中・東欧諸国の位置―グローバル分析」高知大学経済学会『高知論叢』1995年

「90年代前半の国際金融と体制転換支援」『比較経済体制研究』1996年

「IMF 論と競争的体制転換論」『比較経済体制研究』1997年

「グローバリゼーションと体制転換のなかでのハンガリーの経営文化」高知大学経済学会『高知論叢』1998年

「東欧の体制移行と対外環境――地域協力と EU 加盟から見えること――」『ロシア東欧学会年報』1998年

「ハンガリーの体制転換と環境問題の解決」岩田裕編『現代の環境政策の課題』1998年

「ハンガリーの体制転換と国家の役割」『比較経済体制学会会報』1999年03月

「分化するハンガリーの経営文化――歴史とグローバリズムと体制転換がもたらしたもの――」『比較経営研究』1999年05月

「ハンガリーは私有化のなかでどのような所有構造に達したのか」立命館経済学会『立命館経済学』1999年

「世界経済からロシアをみる」『ユーラシア研究』2000年11月

「企業・経営からみた20世紀社会主義とはなにか」立命館経済学会『立命館経済学』2001年04月

「世界経済と移行経済，直接投資」『比較経済体制研究』2001年05月

「東欧におけるグローバル化と地域変容」『ロシア東欧学会年報』2001年10月

「移行経済の類型化（論）へのアプローチ」『比較経済体制学会年報』2002年03月

「ロシアには WTO 加盟によるグローバル化以外に選択肢はないのか」『ユーラシア研究』2002年05月

「EU 加盟交渉の最終局面」関西大学商学会『商学論集』2002年08月

「EU の南東欧政策と戦後復興計画構想の比較検討」立命館大学『人文科学研究所紀要』2002年09月

「経済くらべ学」立命館経済学会『立命館経済学特集』2002年10月

「比較経済体制論からコンフィギュレーション理論へ」『比較経済体制研究』2004年05月

The EU Eastern Enlargement from the Perspective of Japan, 8th EACES（European Association for Comparative Economic Studies）Conference, September 2004

「東欧は新しいタイプの「三者協議型」資本主義になるのか？」比較経済体制学会『比較経済研究』2006年02月

Carpathian Euroregion and Cross-Border Governance, *The Journal of Comparative Economic Studies,* Vol. 2, September 2007

「カルパチア・ユーロリージョンとクロスボーダー・ガバナンス」『比較経済体制研究』2007年07月

「体制転換は東欧をどこに導いたのか」『経済』2008年01月

Carpathian Euroregion and Cross-Border Governance, *Studia Spoleczno-Polityczne,* 2008

「欧州統合とユーロリージョン――越境協力の第三段階――」『立命館経済学』2009年01月

「EU 新加盟国における新しい選択肢としての社会主義を考える」『日本の科学者』2009年03月

「東欧資本主義と企業の社会的責任（CSR）――ハンガリーを中心に――」『比較経営研究』2009年03月

「『ソ連型』経済社会と体制転換の20年に関する省察」『立命館経済学』2011年03月

「ハンガリーの生産アーキテクチャ進化仮説の考察・実証のための試論」『比較経済体制研究』2011年03月

「Share と Sharing, Shared の経済学に関する考察」『2010年度立命館大学経済学部研究推進強化施策プロジェクト報告書』2011年03月

「欧州統合の到達点と経済危機の構図」『経済』2012年07月

「『影の労働システム』はどのように作動していたのか――「ソ連型」経済社会をめぐる甲論乙駁――」『松山大学論集』2012年10月

「シェアとシェアされた所有に関する社会経済学的考察」『立命館経済学』2013年01月

「EU のマクロ・リージョン戦略――ドナウ川流域のケース――」『立命館国際地域研究』2013年10月

「ハンガリーにおける日系企業の活動とその特徴」『日本大学経済学部産業経済研究所産業経営プロジェクト報告書（連携研究）』2014年03月

「ハンガリーが辿り着いた先――国家資本主義3.0――」『季刊　経済理論』2015年07月

「EU の地域アーキテクチュア：マクロ地域戦略と欧州領域協力団体」『立命館経済学』2015年07月

「ユーロと EU 経済はどこに向かうのか：三つの衝撃と『目標数値と制裁の同盟』」『経済』2015年09月

「ハンガリーはいつどのような経路を通ってユーロを導入するのか」『立命館経済学』2016年03月

「EU の2015年：ギリシャ危機と難民問題」『経済科学通信』140号，2016年05月

［書　評］

久保庭真彰・田畑伸一郎著『転換期のロシア経済』『ロシアユーラシア経済調査資料』2000年10月

Book review on Janos Kornai: Paying the Bill for Gulash Communism, 一橋大学経済研究所『経済研究』岩波書店，2003年

コルナイ・ヤーノシュ著『コルナイ・ヤーノシュ自伝』盛田常夫訳『ロシア・ユーラシア経済―研究と資料―』2007年04月

蓮見雄編『拡大する EU とバルト経済圏の胎動』『ロシア NIS 調査月報』2009年05月

図書紹介『拡大するEUとバルト経済圏の胎動』『ユーラシア研究』2009年11月

岩田裕著「チェコ共和国のエネルギー・環境政策と環境保全」『比較経済研究』2010年01月

盛田常夫著『ポスト社会主義の政治経済学』『季論21』2010年07月

加藤弘之・久保亨著「進化する中国の資本主義」『比較経済研究』2011年01月

今井雅和著『新興大国ロシアの国際ビジネス』中央経済社『ロシア・ユーララシアの経済と社会』2011年09月

今井正幸・森彰夫著『アルタナティブ国際政治経済学：国際機構・国際紛争・開発援助・地域統合の再考』『比較経済研究』2012年01月

藤原克美著『移行期ロシアの繊維産業：ソビエト軽工業の崩壊と再編』『比較経済研究』2014年06月

［研究発表等］

「ソ連経済における地域別固定フォンド構造」京都大学経済学会，1986年02月06日

「ポーランド問題・「ソ連型」社会主義を考える―ポーランドの危機の構造について―」日本科学者会議第6回大阪総合科学シンポジウム　1986年11月22-24日，関西大学

“Koltegerzekenyseg, szemely jovedelmado es a socializmus tovabb fejlesztese”: ハンガリー世界経済研究所主催「コスト理論と社会主義の発展」国際シンポジウム　1987年02月27日ハンガリー科学アカデミー世界経済研究所　ハンガリー・ブダペスト，（英語報告）

“Is there an alternative model of socialist economic system ?” Institute for World Economics of the Hungarian Academy of Sciences, International symposium: “Alternative model of socialist economic model” Hungary, ジュール，1988年03月18日

「コメコン企業間直接連携とハンガリー企業」社会主義経営学会関西部会，龍谷大学，1988年11年14日

「コメコン協力におけるハンガリー工作機械企業」国際経済学会関西部会総会，1989年05月

「体制転換とグローバリゼーションのなかのハンガリー企業」比較経営学会，第23回大会共通論題報告，1998年03月

「マクロ経済安定化プログラムと移行経済の国家の役割――ハンガリーの経験から――」比較経済体制学会，第38回全国大会共通論題報告，1998年06月

「東欧諸国のEU加盟と地域協力を中心に」ロシア・東欧学会，第27回大会共通論題報告，1998年09月

「Labour Market in the Transformation Period of Hungary」「経済システム転換と労働市場に関する国際シンポジウム」1998年10月，ブダペスト，ハンガリー科学アカデミー社会学研究所

「世界経済からロシアをみる」ユーラシア研究所，第12回総合シンポジウム共通論題報告，1999年04月

「地域から地球環境を考える」曹洞宗宗務庁主催「禅をきく会」「グリーンプラン」講演2000年01月講演（特別招待）

「東欧から移行経済の類型化（論）を考える」比較経済体制学会，第41回全国大会共通論題報告

2001年06月

「東欧におけるグローバル化と地域変容」ロシア・東欧学会全国大会　松山大学，2001年10月

「An Approach to the Typology（theory）of Transition Economy」日本進化経済学会，第９回大会　専修大学，2002年03月

「東欧のEU加盟とEUの東方拡大」日本国際経済学会，第61回　東北大学，2002年10月5-6日

「EUの東方拡大と東欧のEU加盟―拡大理論の手がかりを探す」日本EU学会，2003年大会共通論題報告，2003年11月

「ハンガリーにおける労働過程・労働市場」比較経済体制学会，第３回秋季研究報告会，2004年11月27日，中央大学駿河台記念館

「EU東方拡大とカルパチアユーロリージョン」進化経済学会，第10回大会　北海道大学，2005年３月（『進化経済学論集第９集』pp. 463-472.

「国際金融，直接投資，多国籍企業とハンガリーの移行経済」日本国際経済学会，第64回全国大会　立命館大学，2005年10月

「Institutional Impact of EU Integration on Hungary―What type of capitalism does Hungary become？―」International Conference “The Wider Europe: Institutions and Transformation” The 21 Century Programme, Kyoto University, November 24-26,

“A Japanese View on International Competitiveness” Ritsumeikan University and Institute for World Economics of the Hungarian Academy of Sciences Conference “Comparing international competitiveness of manufacturing companies in the EU with special emphasis on those in Central Eastern Europe” Feb. 2007, Hungary, Budapest

「東欧資本主義と企業の社会的責任（CSR）――ハンガリーを中心にして――」（統一論題報告）日本比較経営学会，第33回全国大会　札幌大学，2008年７月4-6日

“How has the production architecture been evolving under transformation in Hungary？” EACES Asian Workshop in Kyoto, Feb. 2009, European Association for Comparative Economic Studies The Institute of Economic Research, Kyoto University

“How has the production architecture been evolving under transformation in Hungary？” 進化経済学会，岡山大学，第13回大会　2009年３月

“Economic Crisis in CEEEs” in International Workshop on “the Global Shock Wave”, The Institute of Economic Research, Kyoto University, May 2009

「世界経済危機とEU新加盟国」日本国際経済学会，関西支部シンポジウム「世界経済危機とEU経済」報告，2009年12月

「グローバリゼーションとEU新加盟国の金融経済危機――中東欧地域における危機の諸原因とそれへの対応――」日本国際経済学会関東支部大会共通論題「グローバリゼーションと新興国経済」報告，2010年07月

「旧ソ連型経済社会とはどのようなものであったか――体制転換の20周年をどのように総括するのか」基礎経済科学研究所，第33回研究大会　2010年９月

「成長と分かち合いの理論」立命館大学・江西財経大学日中国際セミナー　2011年９月18日江西財経大学財税・公共管理学院，江西財京大学南校区会議室

「甲論乙駁：「ソ連型」経済社会とは何だったのか」ロシア・東欧学会，2011年，合同研究大会 2011年11月

「東欧における CSR」マクロ経済・経済システム研究会・比較経済体制研究会，2012年02月，京都大学経済研究所

「体制転換期の制度と行動変動の研究に進化の視点はどこまで有効か：ボブ・ジェソップ「リージョナリズムとグローバリズムの力学」から何を学ぶのか？」国際シンポジウム『転換期の東アジア』2012年 3 月，立命館大学衣笠キャンパス

「中国「国家社会主義」論をめぐって――大西広報告と井手啓二報告へのコメント」東アジア地域研究会，2012年全国大会，キャンパスプラザ京都／コンソーシアム京都，2012年12月

「EU のマクロ地域戦略―ドナウ流域のケース」進化経済学会，第17回全国大会，中央大学，2013年 3 月

“Emerging Multinationals in Hungary: Motivation of Inward Entry and Outward Expansion Cases―Through a Comparative Lens of Chinese Emerging Multinationals Abroad” The Pacific Rim Economics: Institutions: Institutions, Transition and Development *Seoul, South Korea, April 24th-26th, 2013*

「新興欧州諸国における多国籍企業と日本企業――方法論とハンガリー・スズキの事例――」日本比較経営学会，第39回大会　玉川大学，2014年 5 月

「ハンガリー経済の危機と国家化：それは何を意味するのか？」比較経済体制学会，第54回大会 山口大学吉田キャンパス，2014年06月08日

「ハンガリーはなぜ改革の先導国から落伍してのか？」東北財経大学・立命館大学日中シンポジウム「地域協力とイノベーション発展」2014年 6 月立命館大学社会システム研究所・経済学会・経営学会

“Comments on Prof. T. Hayashi “Business-Ecosystem in Newly Developing Countries and Base of the Pyramid Strategies” and Prof. N. Wakabayashi “University Industry Collaboration Policy and R&D Network Evolution in a Japanese Biocluster”, International Conference on “International Seminar on Comparative Analysis of Business and Management” in KIER Kyoto University, July 2014 KIER Kyoto University

“Some comments on Prof. Christel Lane “Are large, globally operating MNCs undermining the distinctiveness of coordinated market economies? The cases of Germany and Japan” International Conference on Comparative Analysis of Change related to Institutions and Policies after Global Crisis: Dynamics and Configuration of the World Political Economy, KIER Kyoto University　December 6-8, 2014

「EU のマクロ地域戦略：地域アーキテクチュアと欧州領域協力団体」進化経済学会，第19回全国大会　小樽商科大学，2015年03月

「ロシア・中東欧にみる国家資本主義」マクロ経済学・経済システム研究会　京都大学経済研究所　2015年 4 月

「コメント：小山洋司報告「ビジネス・システムの視点でみたスロヴェニア社会の変化」日本比

較経営学会，第40回全国大会　近畿大学，2015年５月9-10日

「ハンガリーが辿り着いた先：国家資本主義3.0」国際地域研究所「EU プロジェクト研究会」政策科学研究科リサーチプロジェクト「グローバリゼーションと地域圏の将来」2015年７月立命館大学 OIC

“Some Comments on M. Rapacki（Poland），M. Mejstrik（Czechia）and Y. Koyama（Croatia）” in the ICCEES IX World Congress, Makuhari, Tokyo, 3-8 August 2015 Panel III-2-3: Eurozone Enlargement: Prospect of New EU Member States for Euro Adoption; August 6 2015

『ユーロと EU 経済はどこにむかうのか：３つの衝撃と「目標数値と制裁の同盟」』新世界経済研究会，京都立命館大学衣笠キャンパス2015年９月

“Hungary’s divergent way to the Euro Adoption”　比較経済体制学会，第34回年次研究大会日本大学，2015年11月（英語報告）

“Some critical comments on “S. Mizobata and I. Iwasaki（2016）Post-Privatization Ownership and Firm Perfomance, A Large-Scale Meta Analysis of the Transition Literature” International Conference on “Diversity of Institutional Settings and Path-Dependence in Transitional Economies”, Kyoto University, Institute of Economic Research Kyoto University（KIER）, Kyoto University Research Coordination Alliance, February 23 2016

「ハンガリーの行き詰まりと突破：いつどのような経路を通ってユーロを導入するのか」東北財経大学経済社会発展研究院・立命館大学経済学部学術討論会　2016年03月

「ハンガリーの自動車産業の動向について」（地理・地図資料・教授用資料「世界の産業の最前線を見に行く！」帝国書院）2017年01月

［翻　訳］

「社会主義諸国間の原燃料部門の協力の進展」杉本昭七・田中宏共訳『世界経済評論』1977年01月

「ポーランド国営企業従業員集団自主管理に関する法律」井手啓二・田中宏共訳『立命館大学経営学』1982年01月

W・クチンスキ「戒厳令とポーランドの経済危機」『経済評論』1982年07月

W・クチンスキ「ポーランドの危機の展開」『高知論叢』1982年07月

イヴァーン・ベレンド著『資本集約度と発展政策』岩田裕編訳，文理閣，1989年04月

「ポーランド国有企業私有化法」田口雅弘・田中宏共訳『社会主義経済研究』1990年01月

リチャード・フィトレイ「変化する制度レジームとビジネスシステム」日本比較経営学会編『会社と社会』2006年12月

ドロテー・ボーレ，ベーラ・グレシュコヴィッチ『欧州周辺部資本主義の多様性――東欧革命後の軌跡』堀林巧・田中宏・柳原剛・林裕明・高田公共訳，ヤカニシヤ出版，2017年01月